

事業番号	10 05 09	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣保護管理体制整備事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室	
	施策の総合的展開	1-4森林を生かす力強い林業・木材産業づくり 4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-4 信州創生を担う人材の確保・育成			実施期間	H16 ~	
	施策展開	4-② 信州に根付くつながりの継承 (1) 住民主導による地域の活性化					

1 事業の概要

目指す姿	野生鳥獣との緊張感ある棲み分けと野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除・捕獲・生息環境の各対策を総合的に実施するための体制を整備する。 達成目標：捕獲者（有害鳥獣の捕獲に従事する者）数の確保3,506人(H22) → 3,900人(H27)					
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況：農林業被害額10億7千万円（H27年度） 狩猟者は高齢化等により年々減少し、捕獲の担い手確保が課題。狩猟登録者数6,427人(H19年度) → 5,765人(H26年度見込) 					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県の専門的な組織により、県域を対象に人材養成することが効果的である。【環境省「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」】				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	<ul style="list-style-type: none"> クマ対策員の確保 10人 プロフェッショナルハンターの養成 50人 					
成果目標・事業内容	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H28実施内容	H28		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
	野生鳥獣保護管理人材養成事業	直接	野生鳥獣の生態、被害防止対策等の基礎研修、実技研修	1,056		1,056
	クマ対策員配置事業	委託	専門的な知見を持つクマ対策員の配置	6,460		6,460
	プロフェッショナルハンター養成事業	直接	高度捕獲技術の実行者の養成	2,000	-2,000	0
	ハンターデビュー支援事業	直接	新規狩猟者を対象とした免許取得から実猟参加までの指導・支援	5,000		5,000
	銃猟者確保・育成支援事業	補助金・交付金	新規銃猟者の確保・育成経費への支援	750		750
関係機関調整・現地指導	直接	国等との打合せ、緊急時の対応・指導等	989		989	
		合計	16,255	-2,000	14,255	

事業コスト	区分(単位：千円)	26年度	27年度	28補正後
	前年度繰越			
	当初予算	74,744	14,970	16,255
	補正予算	4,507	-1,392	-2,000
	合計(A)	79,251	13,578	14,255
	Aの財源			
	一般財源	10,016	9,970	9,355
	県債			
	国庫支出金	69,599	3,608	4,900
	その他	120	0	0
決算額(B)	72,242	13,353		
概算人件費				
職員数(人)	1.00	1.00	1.00	
概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	87,509	21,611	22,513	

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
クマ対策員数	4人	10人	10人			
プロフェッショナルハンター養成数	0人	10人	50人			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------